

2015年1月29日

各位

オリックス株式会社  
(コード番号: 8591)

## 2015年3月期 第3四半期連結決算

**当期純利益は前年同期比58%増の1,867億円、6期連続増益  
通期目標を上方修正、営業収益21,000億円、当期純利益2,150億円へ  
～営業収益、当期純利益ともに第3四半期累計で過去最高益を更新～**

2015年3月期第3四半期(2014年4月1日～2014年12月31日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比68%増の15,740億円、税引前当期純利益は同57%増の2,817億円、当期純利益は同58%増の1,867億円となりました。第3四半期累計期間では、当期純利益が6期連続で増益となり、営業収益および当期純利益ともに過去最高額を更新しました。

なお、ロベコならびにハートフォード生命や新規事業投資による連結子会社の収益が、期初の見通しより拡大していることから、通期の連結業績目標において営業収益を21,000億円へ、当期純利益を2,150億円へと上方修正しました。

### ■ 通期の連結業績目標の修正について

	営業収益	当期純利益
前回発表連結業績目標 (A)	18,000 億円	2,100 億円
今回修正連結業績目標 (B)	21,000 億円	2,150 億円
増減額 (B-A)	3,000 億円	50 億円
増減率	17%	2%
(参考) 前期実績 (2014年3月期)	13,185 億円	1,868 億円
今回修正目標/前期実績 (増減率)	59%	15%

### ■ 主な経営指標の推移

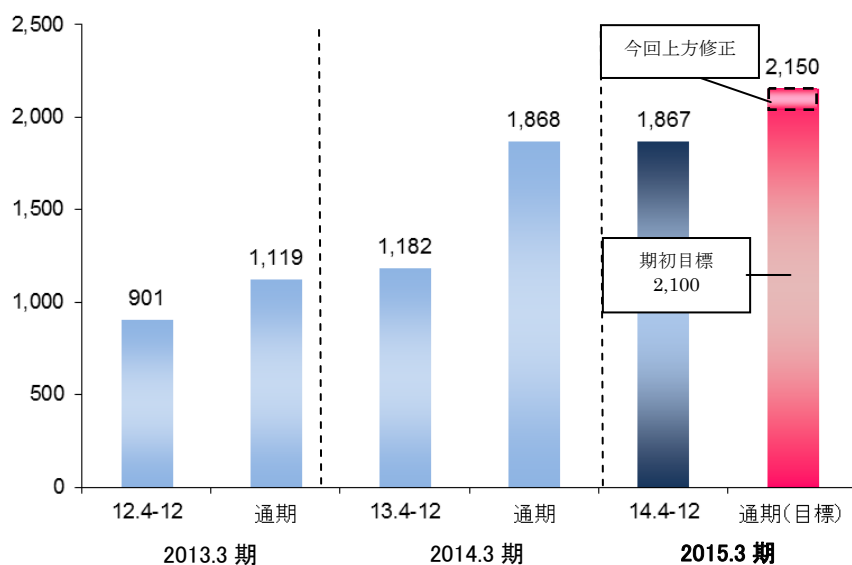
	2013. 4-12	2014. 4-12	増減率
営業収益	9,389 億円	15,740 億円	68%
税引前当期純利益	1,791 億円	2,817 億円	57%
当期純利益 (※)	1,182 億円	1,867 億円	58%
株主資本当期純利益率(※)	9.0%	12.4%	—

	2014. 3	2014. 12	増減率
総資産	90,694 億円	113,795 億円	25%
セグメント資産	72,814 億円	92,812 億円	27%
株主資本 (※)	19,187 億円	21,064 億円	10%
株主資本比率 (※)	21.2%	18.5%	—

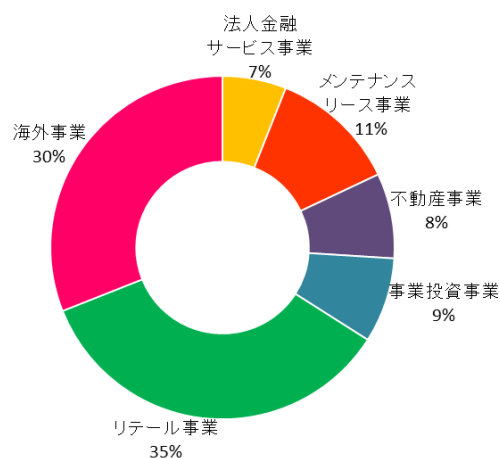
(※)「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率」は、当該当期純利益および当該株主資本合計を用いて年換算にて算出し、「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

## 『当期純利益の推移』

(単位：億円)



## 『当第3四半期のセグメント利益内訳』



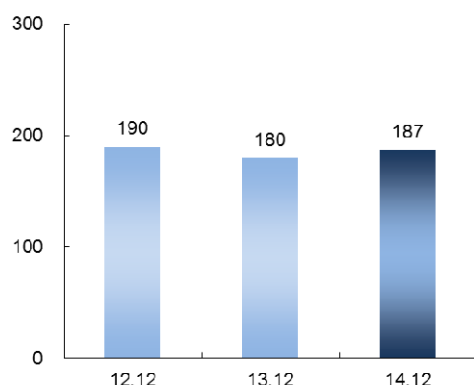
### ■ 各セグメントの業績概要 (2014年4月1日～2014年12月31日)

当第3四半期は、「リテール事業部門」と「海外事業部門」が業績を大きく牽引しました。また、「不動産事業部門」も増益に貢献し、「メンテナンスリース事業部門」と「法人金融セグメント」は堅調に推移しました。

### 【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

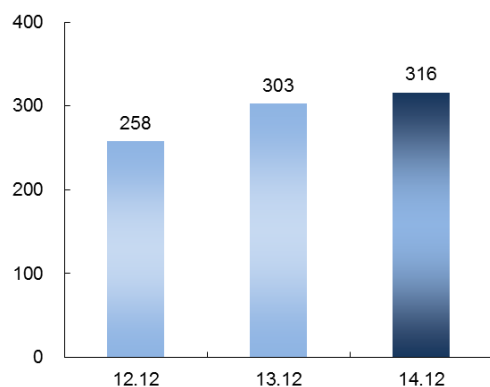
<第3四半期累計セグメント利益> (単位：億円)



- ・ 太陽光パネルや生命保険などの販売手数料ビジネスによるサービス収入が順調に増加。
- ・ 営業貸付金の平均資産残高の減少に伴い、金融収益が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 4%増の 187 億円を計上。

## 【メンテナンスリース事業部門】

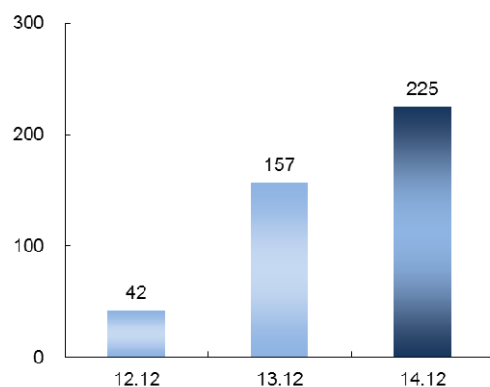
自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース  
＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）



- ・ 自動車の資産が順調に拡大し、オペレーティング・リース収益とサービス収入が増加。
- ・ 付加価値サービスの提供も寄与し、収益性は高水準で推移。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 4%増の 316 億円を計上。

## 【不動産事業部門】

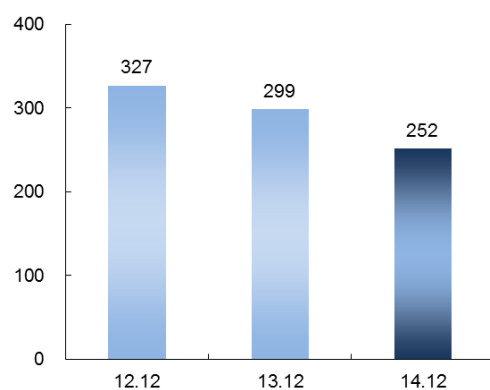
不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問  
＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）



- ・ 順調な市況を背景に賃貸不動産売却益に伴う、オペレーティング・リース収益が増加。
- ・ 運営事業が堅調なほか不動産管理手数料の増加により、サービス収入も増加。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 43%増の 225 億円を計上。

## 【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）  
＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

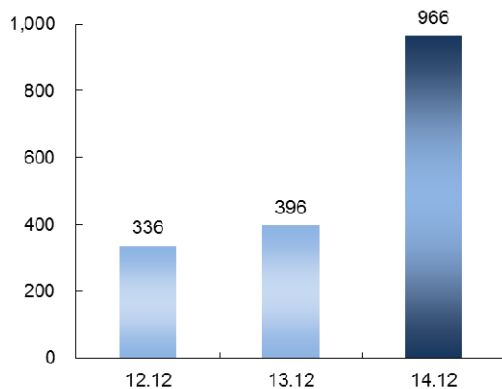


- ・ 新規投資先と環境エネルギー関連事業の貢献により、サービス収入などの収益が増加。
- ・ サービサー事業と大京の利益が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 15%減の 252 億円を計上。

## 【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<第3四半期累計セグメント利益> (単位：億円)

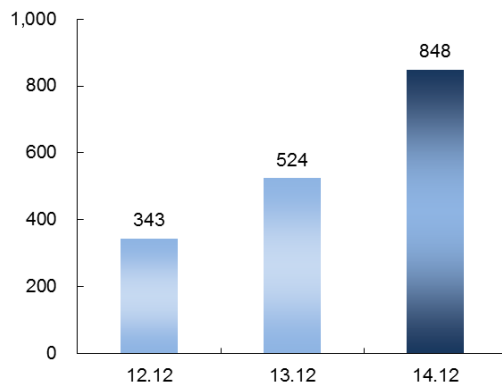


- ・当第2四半期にハートフォード生命保険の買収に伴う負ののれん発生益(バーゲン・パーチェス益)を計上。
- ・銀行事業における金融収益や生命保険事業における収益が順調に増加。
- ・セグメント利益は、前年同期比144%増の966億円を計上。

## 【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<第3四半期累計セグメント利益> (単位：億円)



- ・ロベコのアセットマネジメントや米州の手数料ビジネスの貢献によりサービス収入が増加。
- ・当第1四半期に投資先のSTX Energy (現：GS E&R Corp.)の株式売却益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比62%増の848億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>  
グループ広報部 堀井・中村 TEL : 03-3435-3167